

## 第76回中小トラック部会(WEB開催)

日時:2022年 5月28日(土)13:00~

場所:WEB開催

出席者:別紙

第76回中小トラック部会に、阿部委員長、竹内書記長、私、書記次長の大内  
がWEBで参加しました。まず初めに司会の大原書記次長(本部)の進行で  
代表者あいさつとして、難波委員長(本部)のお話がありました。  
各座長あいさつ、資料説明「組合役員・担当者が知っておきたい15のこ  
と」



「トラックドライバーの採用・定着に向けた取組事例・ポイントを紹介  
します」労働施策総合推進法に基づく「パワーハラスメント防止措置」が  
中小企業の事業主にも義務化されます！の話がありました。



その後に、分散会(意見交換)で自分は第三分散会で座長は、  
四国運輸(四国地連) 山崎書記長で意見交換の話が始まりま  
した。事前に何を意見交換をするかを各単組に聞いていて、  
一番多かったのは、人手不足が多かったです。募集を出して  
も入ってこない。入ってきもすぐ辞めてしまう。仕事内容で  
バラ積みバラ卸って言ったら「じゃあいいです」と断られ  
る。

あと、軽油が高騰でも、どうにか赤字にはならなかったが、ロシア軍のウクライナ侵攻で  
原油価格の高騰が止まらない！不安を感じてるのが現状です。

川崎運送で出した質問は、SASの問題で各単組はどういう風にやっているかを聞いたら、  
助成金がでて調べてみて、SASと診断された人の中では高い治療費を払って治す人もいま  
すが、治さない人が多かったです。ほかの会社では、取り組んでいる所が少ない事がわか  
りました。

今後、人手不足、燃費高騰で運送業界はどうなっていく不安になりました。

川崎運送労働組合  
書記次長 大内 祐介

## 運輸労連・第76回トラック部会レポート

2022年5月28日(土)13時00分より、「運輸労連 第76回中トトラック部会」がWEB開催されました。

大原書記次長(業種対策)の司会で始まり、主催者として難波委員長からの挨拶があり、次に各座長に第1分散会小原(太平洋陸送労組)委員長、第2分散会坂本(松岡満運輸労組)委員長、第3分散会山崎(四国運輸労組)書記長が選出されました。

全体会議として、労働政策(大原書記次長)、産業政策(福本書記次長)、組織(世永副委員長)より、資料を元に本部説明を頂きました。

その後、休憩を挟み各分散会に移りました。

第1分散会(小原座長)では座長より

「各労組から何か問題提起があればお願いします」と案内されました。

丸運トランスポート 労組京浜支部、松本副委員長から

「皆さんに聞きたいのですが、休憩時間について、各単組ではどうなっていますか」

岡山通運労組、池田委員長から

「人手不足の中、パワーハラスメント防止措置が、中小企業にも義務化されましたが、新人教育について、どの様なところに注意しているか教えてください」

川崎運送労組、阿部委員長から

「睡眠時無呼吸症候群については、川崎運送も3年毎に検査をしていますが、無呼吸が社会問題として言われ出してから随分経過していて、各労組ではどの様な対応しているのか教えてください」と、最新情報等もあれば教えてください」

大原書記次長から

「今日、参加している労組の中で、多くの会社が働きやすい職場認証制度(一つ星認証)を取っていますが、求人募集などで何か変化はありますか」

などの質問に対して、沢山の労組と本部から意見が出され、第1分散会を終了しました。

もう一度WEB全体会議に戻り、各座長から分散会報告がありました。

最後に、次回開催日程、開催方法などの連絡事項を伝え、閉会しました。

川崎運送労働組合 阿部

## 第 76 回中小トラック部会 (WEB)

日時：2022 年 5 月 28 日 (土) 13:00～

場所：WEB 開催

参加：本部 5 名、43 単組、総勢 71 名

神奈川県連からは、川崎運送労働組合 3 名、丸運トランスポート労働組合 2 名がそれぞれの組合事務所にて、出席をしました。

大原中央書記次長の司会で開催し、難波中央執行委員長の挨拶が行われ、第 1～第 3 分散会の座長が選出されました。

第 1 座長には、太平洋陸送労組 小椋委員長、第 2 座長には、松岡満運輸労組 坂本委員長、第 3 座長には、四国運輸労組 山崎書記長がそれぞれ選出され、挨拶がされました。

第 1 講演は、本部より、「2021 年末一時金の交渉結果と概要・集計」・「組合役員・担当者が知っておきたい 15 のこと」の資料説明が行われた。

分散会では、運転手不足、無呼吸症候群 (SAS)、休息期間のインターバル等についての意見交換が行われた。運転手不足は、通年の課題であり、企業によっては、会社のホームページ等を作成し、アピールをしたり、免許取得の補助金を出したり、紹介制度を導入している。SAS については、病気であり、治療費について高額で懸念される。

次回開催については、関東地方にて対面と WEB を用いてのハイブリッド形式を予定しており、閉会となった。

以上

丸運トランスポート労働組合京浜支部

執行委員長 小泉一樹